					1				-
科目ナンバー	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			科目名	児童英語概論				
教員名	井熊 ひとみ			開講年度学期	2020年度 後期 単位数		単位数	2	
概要	児童英語教師とは? 児童(含む幼児)の英語習得における理論と実践の仕組みを学びます。幼児から小学生(児童)にとっての英語教育とはどんな内容なのか、何を、どのような順序で学ぶのかなどを具体的に学んでいきます。日本における児童英語の位置づけや具体例などから実態を学び、小学校外国語活動、小学校英語教科化(2020年度より)の内容等と比較して必要な基礎概論を学びます。また、児童の発達段階にあわせた指導者の視点や指導者の資質として何が大切なのかも学んでいきます。								
到達目標	児童英語教師養成プログラムにおける入門の科目です。児童に英語を指導するために、必要な基礎知識、 英語力、人間性、指導者として必要な条件を積極的に学び自身の理想を築けるようにイメージを具体化 しながら学んでいきましょう。								
「共愛12のカ」との	) )対応								
識見		自律する力		コミュニケーションカ		問	問題に対応する力		
共生のための知識	Ì	自己を理解する力	0	伝え合う力	0		が析し、思	がし、思考するカ 〇	
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構	<b>慧想し、実</b>	2行する力	0
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築する	3カ (	<b>)</b>	異的ス-	キル	
い。また、履修課程において、小テストや理解度の確認のためのレポートを提出を求めます。児語を学ぶ時、何を目標に、どのような様子なのかも具体例をもって体験的に学びます。小学校外国語活動(英語)の授業見学を行います。見学の方法の詳細はシラバス作成時点では教育・調整中でまだ確定していませんので、授業中に説明します。ただし、現時点では次のような可えています。前期、および後期履修者は1日ないし2日の見学日を設定し、教員とともに小学校、見学後レポートを提出することを義務づけられます。英語活動の見学は、学事の都合により投外にも行われる可能性があることを承知しておいてください。また、この小学校英語活動見学なとレポート提出は、「児童英語教授法演習」、川の受講条件となりますので、必ず参加してくださ的に、この授業見学は児童英語概論の履修年度内に行われるものとします。			小学校にお は教育委員 うな可能性 小学校を により授業 か見学への	6ける 員会等と 生を考 訪問し :期間 D参加					
アクティブラーニン	グ	サービスラ	ラーニング		Ē	果題解決型学	学修		
受講条件 前提 科目	児童英語教師養成プログラムを修了するためには、まずこの科目を最初に履修することが必要です。2 年生以上は「児童英語教授法演習」」を同時履修が可能です。授業では全員がそれぞれに意見を述べる環境を作りますので積極的に自らの意見を述べてください。特に小学校、中学校の教員を目指す学生は、広く児童期における英語習得の全般を学び、速やかな小中連携がなされる知識として受講しましょう。 児童英語概論から、児童英語教育実習までのプログラムにおいて、指導法はもとより英語力を上げる努力を惜しまず行いましょう。また、教育実習は4年生で履修できますが、3年生で履修できるように計画性を持って学びましょう。								
アセスメントポリ シー及び評価方法 遅刻、欠席のないことを基本の評価とします。授業態度、積極性、授業において行うディスカ の発表や小テストなどを行い、レポートの提出やその期限を守ること、それらをすべて考慮して ます。 児童英語教師養成プログラムの基礎となる科目履修です。			-						
教材	実践家からの児童英語教育法『解説編』 (中本幹子著 アプリコット社刊) ISBN:9784899910473 小学校学習指導要領解説一外国語活動編 (文部科学省刊)								
参考図書	(文部科学省) 2020n年度より使用のテキスト Let's try! 1 & 2(3年生4年生)、及び外国語科テキスト (5年生、6年生)子ども中心ではじめる英語レッスン (David Paul著 ピアソンエデュケーション刊)小 学校外国語活動の進め方(成美堂刊)そのほか、外国語センターや図書館内にある児童英語教材としての(絵本)と、外国語センターにある関連教材など。					小			
内容・スケジュール									
1週目									
授業学修内容	ノラバス授業	児童英語教育とは?	児童英語	教師とは?					
		ンラバスに出席し、授業を履修する学生は、「児童英語教師に一番大切なこと は何か」をテーマにレポートを2回目に提出する。							
	•							I	
授業学修内容	児童英語における外国語習得の特徴 母語と外国語学習の関連性~ナチュラルアプローチ~								
授業外学修内 字	テキストを読む	`°					時間数	女 2	

3週目							
授業学修内容 日本における児童英語教育の実態。なぜ児童英語を学ぶのか。?EFLとESLの実態と理想?							
授業外学修内 容	テキストを読む。	時間数	2				
4週目							
授業学修内容	児童発達心理からみた学習 TPR理論と年齢別実践アプローチ・教授法						
授業外学修内 容	テキストを読む。	時間数	2				
授業学修内容	小学校で学ぶということ(1)?小学校における英語学習の変遷と実態・新指導要領の解説①~						
授業外学修内 容	指導要領の解説を読む。	時間数	2				
6週目							
授業学修内容	授業学修内容 小学校で学ぶということ(2)?豊かな国際人の育成を目指して・新指導要領の解説②?						
授業外学修内 容	指導要領の解説を読む。	時間数	2				
7週目							
授業学修内容	容 指導者としての資質とは? 指導力と人間性について考える						
授業外学修内 容	状況観察を課外で行う。	時間数	2				
8週目							
授業学修内容	クラスマネージメント(1) 「環境と条件」						
授業外学修内 容	テキストを読む。	時間数	2				
9週目							
授業学修内容	クラスマネージメント(2)「言葉の教育」「人権・人格を考える」						
授業外学修内 容	テキストを読む。レポート課題テーマについて考える。	時間数	2				
10週目							
授業学修内容	発達段階にあった指導とは? 幼児を対象とした授業						
授業外学修内 容	テキストを読む。	時間数	2				
11週目							
授業学修内容	発達段階にあった指導とは?小学生を対象(低学年?中学年)						
授業外学修内 容	テキストを読む。	時間数	2				
12週目							
授業学修内容	発達段階にあった指導とは? 小学生を対象(高学年から中学への連携)						
授業外学修内 容	テキストを読む。	時間数	2				
13週目							
授業学修内容	総括 児童英語教師とはどんな人なのだろう? ディスカッション						
授業外学修内 容	レポート提出の準備	時間数	2				
14週目							
授業学修内容	容 総括 小学校の外国語活動と民間指導の違い(まとめ)から、児童英語教育とは? ディスカッション						
授業外学修内 容	レポート提出の準備	時間数	2				
15週目	15週目						
授業学修内容	まとめ						
授業外学修内 容	次年度のプログラムへの予習と心構えなどを準備する。	時間数	2				
-		-	•				

上記の授業外学修時間の合計	30
その他に必要な自習時間	60

Number	EDU-1-001-ky	Subject	Theory for teaching Children's English			
Name	井熊 ひとみ(Iguma Hitomi)	Year and S emester	Second semester for 2020	Credits	2	
Course O utline	What is English teachers for young learners?  Students will learn about the theoretical and practical structures of English education for child n(including infants). Specially, learning about what constitutes English education for infants to learning the current ate of English education for children from specific examples, and acquire the necessary basic eories through comparisions with foreign activities in elementary schools and the proposal to ach elementary school English as a subject (from AY2020).  In addition, students will learn about the importance of matching an instructor's perspectives coording to the different stages in a child's development and what it takes to be an instructor.					